

**平成30年度
長野県森林づくり県民税活用事業
木曽地域の実績**

長野県木曽地域振興局

1 「防災・減災」及び「県民等による利活用」のための里山等の整備

1-1 防災・減災のための里山等の整備事業

(1) 里山整備方針作成事業

- ・森林づくり県民税を活用した「防災・減災」及び「住民等の利活用」のための里山の整備を進めるため、航空レーザ測量等の科学的知見や現地調査の結果等を踏まえ、優先的に整備していく箇所を特定、図面化することにより、森林づくり県民税の効果的な活用と取組の見える化を図る。

事業費：千円

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績		補助率	事業費
・優先整備箇所の選定 ・里山整備方針(図面)の作成	市町村、森林整備協議会等	里山整備方針基礎図面の作成	9箇所 (旧市町村数)	10/10	1,060

【内訳】

(単位：箇所,千円)

区分	上松町	南木曽町	木曽町	木祖村	王滝村	大桑村	計
箇所数	1	1	4	1	1	1	9
事業費							1,060

(2) みんなで支える里山整備事業

- ・「防災・減災」の観点から、未整備の里山のうち、科学的知見等を活用して、優先的に整備が必要な箇所の間伐を推進する。

※里山整備方針が作成されるまでの間、県が提示した航空レーザ測量等による優先整備箇所及びこれと一体的に行う箇所を補助対象とする。

(単位：千円、[]内はうち森林税)

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績		補助率	補助金額
・間伐(搬出間伐を含む) ・路網整備	市町村、森林組合、NPO法人、森林所有者の団体等	里山の整備	105ha	9/10	[17,757] 24,905

※ 対象地が国庫補助の対象となる場合は、一般の造林事業7/10に森林づくり県民税で2/10の嵩上げ。それ以外は、全額森林づくり県民税により9/10の補助。

【内訳】

(単位：ha,千円)

区分	上松町	南木曽町	木曽町	木祖村	王滝村	大桑村	計
里山の整備面積	19.7	12.3	52.8	0	3.5	16.5	104.8
補助金額	5,211.9	3,044.7	11,520.9	0.0	825.3	4,302.0	24,904.8

みんなで支える里山整備事業の実施状況

木曽町

施行前



施行後



集落のすぐ裏山のヒノキ林です。間伐が進まなかったため、下層の植生が無い状況です。間伐後は日が当たり、植生回復や残存木の太りが見込まれ、防災・減災効果が向上します。

南木曽町

施行前



施行後



こちらも間伐により林内に光が当たり、防災・減災効果が向上します。

(3) 県単河畔林整備事業

- ・ 県が管理する一級河川の区域外（民地）の河畔林及び市町村が管理する準用河川区域とその周辺の河畔林のうち、防災効果が高い箇所を整備を推進する。

(単位：千円)

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績		補助率	事業費及び補助金額
・ 河畔林の整備（除間伐等）	県	県管理河川	2 箇所	—	7,819
	町村	市町村管理河川	2 箇所	9/10	

【内訳】

(単位：河川、千円)

区分		上松町	南木曾町	木曾町	木祖村	王滝村	大桑村	計
県	箇所		1			1		2
	事業費		994			1,015		2,009
町村	箇所	1			1			2
	補助金	3,110			2,700			5,810

県単河畔林整備事業の実施状況

王滝村

施行前

施行後



施行前

施行後



河川の氾濫による流木等の防止や野生鳥獣の移動経路の抑止効果が期待されます。

1-2 県民協働による里山の整備・利用事業

(1) 里山整備利用地域の認定

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績	
地域活動、里山整備等の実施 地域	里山整備利用推進協議会	里山整備利用地域の認定	1 地域

※里山整備利用地域の認定前であっても支援対象

【内訳】

(単位：箇所)

区分		上松町	南木曾町	木曾町	木祖村	王滝村	大桑村	計
認定地域数	計 画		1	2	2			5
	実 績			1				1

(2) 里山整備利用地域活動推進事業

- ・地域住民による里山の整備・利活用を促進するため、長野県ふるさとの森林づくり条例に基づく「里山整備利用地域」の認定地域において、地域住民による里山整備利用推進協議会の立ち上げ及び里山整備利用地域活動計画の作成等を支援する。

(単位：千円)

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績		補助率	補助金額
・現地調査 ・地域活動（森林体験活動、新の生産、山菜・きのこ栽培、野生鳥獣対策、植生保存活動等） ・計画作成 等	里山整備利用推進協議会	里山整備利用地域の認定	0地域	10/10	0

※里山整備利用地域の認定前であっても支援対象

(3) みんなで支える里山整備事業

- ・長野県ふるさとの森林づくり条例に基づく「里山整備利用地域」において、住民協働による里山の整備を促進するとともに、多面的な森林資源の利活用を進めることで、自立的・持続的な森林管理の構築を図る。

(単位：千円)

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績		補助率	補助金額
・里山の整備 （間伐、搬出間伐、植栽、下刈り、緩衝帯整備等） ・路網整備	市町村、森林組合、NPO法人、森林所有者の団体等	里山の整備	0ha	9/10	0

(4) 里山資源利活用推進事業

- ・里山の資源を有効に活用し地域に還元する仕組みづくりを進めるため、自立的・持続的な管理体制の構築に必要な資材の導入等を支援する。

(単位：千円)

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績		補助率	補助金額
資機材等の導入 (チェーンソー、薪割り機、簡易ウインチ、移動式トイレ等) 遊歩道の整備	里山整備利用推進協議会	里山整備利用地域の認定	0地域	3/4 9/10	0

1-3 地域で進める里山集約化事業

- ・小規模個人有林、不在村者所有森林等が多い里山の森林整備を推進するため、間伐事業実施地の森林所有者の合意形成や、所有者の境界を明確化する取組を支援する。

(単位：千円)

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績		補助率	補助金額
・森林所有者の同意取得 ・境界の明確化	自治会組織、 林業事業体等	集約化等面積	5ha	定額	75

【内訳】

(単位：ha,千円)

区分	上松町	南木曽町	木曽町	木祖村	王滝村	大桑村	計
集約化面積			5				5
事業費			75				75

地域で進める里山集約化事業の実施状況



事業体による森林所有者への
集約化作業の状況
(イメージ)

2 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用

2-1 地消地産による木の香る暮らしづくり事業

(1) 子どもの居場所木質空間整備事業

- ・モデル性の高い施設において、県産材を活用して行う「子どもの居場所」の木造化・木質化及び調度品・おもちゃの設置に対して支援する。

【H30年度事業実績】

(単位：千円)

事業内容	町村	施設名	補助金額	備考
調度品・おもちゃの設置	木曽町	御料館（旧帝室林野局木曽支局庁舎）	375	
	木曽町	木曽町文化交流センター	360	
	南木曽町	南木曽会館	159	追加
計			894	

「こどもの居場所木質空間整備事業」の実施状況

林業遺産 御料館への木のおもちゃの設置（木曽町）



(2) 木工体験活動支援事業

- ・ 子供等を対象とした地域材を使った木工体験活動の開催を支援する。

【H30年度事業実績】

(単位：千円)

事業内容	町村	体験内容	補助金額	備考
木工体験活動の開催	木曽町	公募に応募した小学生を対象に地域材の椅子づくりを実施	226	
	木曽町	三岳地区の小学生を対象に地域材の椅子づくりを実施	110	
	南木曽町	南木曽小学校3年生を対象に地域材のイス・テーブルづくりを実施	144	
計			480	

「木工体験活動支援事業」の実施状況



南木曽小学校3年生によるイス、テーブルづくり (南木曽町)

子どもたちが地産地消の木に触れ合うことで、県産材に囲まれた地域づくりを推進します。

3 森林づくりに関わる人材の育成 (県直営事業)

4 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用

4-1 森林の教育利用の推進

(1) 学校林等利活用促進事業

- ・ 周囲を森林に囲まれた長野県で学ぶ児童・生徒が森林・林業に親しみを感じ、次世代の森林づくりに理解を深めるとともに、学校林を活用した森林教育を推進するため、手入れが放置され利用困難になっている学校林について、森林税により集中的に整備する。

(単位：千円)

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績		補助率	補助金額
・ 学校林の整備 (除間伐等)	市町村	義務教育学校林の整備	0校	9/10	0

(2) 自然保育活動フィールド等整備事業

- ・ 豊かな森林資源、自然環境を活用した「信州やまほいく」認定園の活動フィールドの整備等を行うことにより、森林を活用した保育の安全性確保及び教育環境の充実を図ります。

(単位：千円)

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績		補助率	補助金額
・ 活動フィールドの林間整備 ・ あずまや・トイレ等の付帯施設整備	「信州やまほいく」認定園の設置主体	森林を自ら所有 又は貸借して使用する認定園等	0園	9/10 1/2	0

4-2 観光地における景観形成のための森林等の整備

(1) 観光地等魅力向上森林景観整備事業

- ・豊かな森林資源を活かした観光地の魅力向上を図るため、地域の景観に合致した森林整備等を推進し、観光地等の魅力向上を図る。

(単位：千円)

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績		補助率	補助金額
・景観整備 ・ビューポイントの樹木の伐採	町村	地域の景観に合致した間伐等	1.93ha	9/10	486

【内訳】

(単位：ha、千円)

区分	上松町	南木曽町	木曽町	木祖村	王滝村	大桑村	計
面積				1.93			1.93
補助金				486			486

観光地等魅力向上森林景観整備事業の実施状況

木祖村 鳥居峠

施行前



施行後



観光地の眺望景観を良好にすることで、観光地としての魅力を向上させます。

4-3 森林セラピー推進支援事業（施設整備）

- ・本県の森林セラピーの利用を促進するとともに、関連する産業（観光、健康、環境、産業）との連携を強化し、地域資源として積極的に活用していくため、セラピー基地等の魅力向上を図るとともに、県内外へ積極的にPRを行い、利用者の増加、満足度の向上を図る。

（単位：千円）

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績		補助率	補助金額
・修景伐採 ・施設補修	市町村	森林セラピー基地整備	0箇所	9/10 1/2	0

5 市町村に対する財政調整的視点での支援

5-1 森林づくり推進支援金

- ・森林づくり指針に掲げる方針を踏まえつつ、森林に関する各地域の様々な課題解決のための国庫補助等の既存施策の対象とならない市町村の取組を支援し、事業実施後は市町村において成果の把握・検証を行う。

（単位：千円）

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績		補助率	支援金額
市町村が行う身近な課題解決のための森林づくりの取組	市町村	実施市町村数	6町村	定額	5,822

【内訳】

（単位：千円）

区分		上松町	南木曾町	木曾町	木祖村	王滝村	大桑村	計
実績	配分額	704	789	2,219	786	638	686	5,822

森林づくり推進支援金事業の実施状況

(別記様式第15号)

平成30年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

上松町

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	平成30年度緩衝帯整備事業(栄町地区)
事業費		1,026,000円 (うち支援金: 704,000円)

事業目的

(別記様式第1号の「事業実績」から転記)

緩衝帯を整備し、そこを通り道としている野生鳥獣の行動範囲を制限・抑制することで田畑や住家付近に出没しにくくし、目撃や被害の発生を軽減する。

事業内容

(別記様式第1号の「事業実績」から転記)

栄町地区 緩衝帯整備
面積 0.18ha

(交付要綱第2の第2項に規定する交付対象としない事業の該当無し)

施工前



事業効果

(別記様式第1号の「事業実績」から転記)

緩衝帯整備を行うことで、野生鳥獣の田畑や住家への接近を防ぎ、目撃や被害増加の抑制が期待できる。

施工後



事業評価と今後の取組

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

緩衝帯整備により、人の目に触れやすくなり野生鳥獣の通り道となっていたことの抑制が期待できる。
整備が終わった部分の再繁茂など維持管理に対し、行政・住民と協力して留意したい。

(別記様式第 15 号)

平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

南木曾町

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る森林 づくりに関する事業	森林病虫害対策事業
事業費 159,000 円 (うち支援金: 120,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

マツノザイセンチュウによる森林病虫害被害が田立地区から発生し年々被害が拡大している。吾妻広瀬地区を除く町内全域に被害が拡大しており、町内の被害拡大を抑制する事が困難となってきた。

これ以上北上防止させない為にも国の補助事業駆除地域を大桑村との町村境付近の被害木のみとしていることから、その他の地域で発生した被害木処理を町単にて実施しているが、財政負担は増える一方で予算関係もあり処理できず、枯損木となり道、住宅等へ倒木する危険がある。

(2) 本事業の目的

森林病虫害被害で倒木の恐れのある危険木を伐採して人的被害防止と病虫害被害の拡大防止を図る。

事業内容

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

- (1) 実施場所 南木曾町田立大野正兼地区
- (2) 対象者 田立大野正兼地区住民
- (3) 実施方法 森林被害木を伐採し直ちに枝払い、玉切りをして1㎡ごとに集積を行う。

(4) 事業目標及び当年度事業量

- ①全体計画(平成30~34年度) 30㎡(年約6㎡)
- ②平成30年度実績 6.63㎡



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

被害木が倒れる前に処理する事ができるため、人的被害防止につながる。また、北部地域への被害拡大防止に繋がる。

(2) 継続性

被害木を伐採するため、事業効果は見込まれる。

(3) 普及性

田立大野正兼地区住民をはじめ観光客に対して被害対策の必要性を周知できると考えられる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

住宅や道路付近にある森林病害虫被害木を処理する事により倒木による被害を事前に防ぐ事ができた。

(2) 課題

処理を実施しても被害木がある為、継続して被害木処理を実施していく必要がある。

(3) 今後の取組方向

■事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

被害木が倒れる前に処理する事ができるため、人的被害防止につながる。
また、北部地域への被害拡大防止に繋がる。

□事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

□事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	南木曾町
------	------

No.	事業項目	事業名
2	みんなの暮らしを守る森林 づくりに関する事業	森林病虫害対策事業に対する付帯事業
事業費 86,000 円 (うち支援金: 70,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

マツノザイセンチュウによる森林病虫害被害が田立地区から発生し年々被害が拡大している。吾妻広瀬地区を除く町内全域に被害が拡大しており、町内の被害拡大を抑制する事が困難となってきている。

これ以上北上防止させない為にも国の補助事業駆除地域を大桑村との町村境付近の被害木のみとしていることから、その他の地域で発生した被害木処理を町単にて実施しているが、財政負担は増える一方で予算関係もあり処理できず、枯損木となり道、住宅等へ倒木する危険がある。

(2) 本事業の目的

森林病虫害被害で倒木の恐れがある危険木伐採作業の付帯工(クレーン車等)嵩上げにより効率的な作業をすることで病虫害被害防止を図る。

事業内容

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

- (1) 実施場所 南木曾町田立大野正兼地区
- (2) 対象者 田立大野正兼地区住民
- (3) 実施方法 急傾斜や構造物付近の被害木処理に対して伐倒ができない箇所の処理においてクレーンで被害木を吊って伐採して処理をする。

(4) 事業目標及び当年度事業量

- ①全体計画(平成30～34年度) 30 m³(年約6 m³)
- ②平成30年度実績 6.63 m³



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

被害木が倒れる前に処理する事ができるため、人的被害防止につながる。
また、北部地域への被害拡大防止に繋がる。

(2) 継続性

被害木を伐採するため、事業効果は見込まれる。

(3) 普及性

田立大野正兼地区住民をはじめ観光客に対して被害対策の必要性を周知できると考えられる。

(別記様式第15号)

平成30年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

南木曾町

No.	事業項目	事業名
3	みんなの暮らしを守る森林 づくりに関する事業	森林病虫害被害木防除事業
事業費 726,000円 (うち支援金: 599,000円)		

事業目的

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

マツノザイセンチュウによる森林病虫害被害が田立地区から発生し年々被害が拡大している。吾妻広瀬地区を除く町内全域に被害が拡大しており、町内の被害拡大を抑制する事が困難となってきている。

これ以上北上防止させない為にも国の補助事業駆除地域を大桑村との町村境付近の被害木のみとしていることから、その他の地域で発生した被害木処理を町単にて実施しているが、財政負担は増える一方で予算関係もあり処理できず、枯損木となり道、住宅等へ倒木する危険がある。

(2) 本事業の目的

森林病虫害被害になる前に樹幹注入剤を行うことにより病虫害被害の拡大防止を図る

事業内容

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

- (1) 実施場所 南木曾町読書天白地区
- (2) 対象者 読書天白地区住民
- (3) 実施方法 森林病虫害被害になる前に樹幹注入剤を行うことにより病虫害被害の拡大防止を図る。

(4) 事業目標及び当年度事業量

- ①全体計画(平成30~34年度)
100本(年約20本)
- ②平成30年度実績
森林病虫害防止樹幹注入処理 38本



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

- (1) 事業実施の効果
被害木の発生を防ぐため、人的被害防止につながる。また、北部地域への被害拡大防止に繋がる。
- (2) 継続性
健全木を被害木にしないため、事業効果は見込まれる。
- (3) 普及性
読書天白地区をはじめ観光客に対して被害対策の必要性を周知できる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

健全木に対して樹幹注入する事による被害拡大を抑制する事ができた。

(2) 課題

町内において、健全木があるので被害木になる前に樹幹注入を実施する必要がある。
また、薬剤にも効果年数があるので定期的に注入する必要がある。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

まだ、健全木があるので継続して樹幹注入を実施していきたい。

事業内容を見直して継続する

(見直しの内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

木曾町

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくりに関する事業	緩衝帯整備事業
事業費 2,656,800 円 (うち支援金: 2,219,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

当町は総面積の 90%以上を森林(43,011ha)が占める森林町であり、遊休地の林地化が進み町内各地でニホンザルやイノシシ等による田畑や住居周辺での被害や目撃が増加し、住民生活に影響が出ている。また、森林所有者の高齢化が進んでおり、自ら森林を効率的かつ適正に管理することが困難になっている。

(2) 本事業の目的

(1) の課題への対応方向について記載

加害獣が出没しにくい環境をつくることで農林業被害の軽減を図り、緩衝帯整備 5 ヶ年計画に基づき、今年度は日義、開田高原、三岳地区において 2.66ha を整備する。

事業内容

(1) 実施場所

木曾町日義小沢地区

木曾町開田高原西野小西地区

木曾町三岳西洞地区

(2) 対象者

日義小沢地、開田高原西野小西地、三岳西洞地区住民

(3) 実施方法

刈り払い機等を用いて人力により藪払い等を行う

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成 30~34 年度)

緩衝帯整備 11.0ha

②平 30 年度計画

緩衝帯整備 2.66ha

木曾町日義小沢地区

着工前



竣工



木曾町開田高原西野小西地区

着工前



竣工



木曾町三岳西洞地区

着工前



竣工



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

加害獣が出没しにくい環境をつくることで被害の軽減と森林整備に対する森林所有者の意識向上に繋がる。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

継続的に緩衝帯整備を実施することで、農林作物への被害減少効果は見込まれる。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

事業対象地区住民をはじめ、観光客に対し被害対策となる緩衝帯整備の必要性を周知できると考えられる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

見通しがよくなり、鳥獣発生及び農作物被害の減少が期待される。また、地域住民の追い払い活動にも効果的だと思われる。

(2) 課題

地域住民による整備後の維持管理を定期的にも実施してもらいたい、いずれも高齢化地域のため困難と思われる。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

毎年、緩衝帯整備の地区要望があるため、定期的に事業を実施したい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

木祖村

No.	事業項目	事業名
	森林を支える豊かな地域づくりに関する事業	野生鳥獣対策緩衝帯整備事業
事業費	2,894,400 円	(うち支援金: 786,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

当該地域は山林と農地に挟まれた村道奥木曾 1 号線沿いであり広域的な森林施業は困難であり小規模ではあるが景観整備や有害獣の対策が必要な林地である。また、飯米原地区では、有害鳥獣による畑への被害や住居周辺でのイノシシ等による掘り起こし被害が起きている。

(2) 本事業の目的

加害獣が出没しにくい環境をつくることで農林業被害の軽減を図り、村内緩衝帯整備 5 ヶ年計画に基づき、今年度は飯米原地区において 6.82ha を整備する。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 木祖村小木曾飯米原地区

(2) 対象者 飯米原地区住民

(3) 実施方法 刈払機を用いて低木の除去を行う。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～34 年度)

緩衝帯整備 35ha

②平成 30 年度実績

緩衝帯整備 6.82ha



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

加害獣が出没しにくい環境をつくることで被害の軽減と森林整備に対する森林所有者の意識向上に繋がる。

(2) 継続性

平成24年度から緩衝帯整備に着手し、効果検証を継続しながら対策を進めており、継続性は見込まれる。

(3) 普及性

地域住民に対して被害対策となる緩衝帯整備の必要性を周知できると考えられる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

この地区は山からすぐの距離に集落と農地が存在し、農業被害や鳥獣被害の多い地区であった。近隣でクマの出没が多く、地域住民や農家が日常生活に不安のある日々を過ごしていた。今回緩衝帯整備を実施したことにより、野生鳥獣が身を隠せなくなり集落・農地周辺への出没を抑制し、人身被害や農業被害を未然に防ぎ、減らすことが期待できる。

(2) 課題

数年のうちに事業実施前の姿に戻ってしまうことが懸念されるため、地域住民による継続的な維持整備が必要となる。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

鳥獣による被害に対し防除効果が高く見込まれるため今後も事業を継続実施していく。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

王滝村

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくりに関する事業	平成 30 年度 緩衝帯整備事業
事業費 1,080,000円 (うち支援金: 638,000円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

当該地域は山林と御岳湖に挟まれた村道 1 号線沿いであり広域的な森林施業は困難であり小規模ではあるが景観整備や有害獣の対策が必要な林地である。また、崩越地区では、有害鳥獣による畑への被害や住居周辺でのイノシシ等による掘り起し被害がおきている。

(2) 本事業の目的

加害鳥獣が出没しにくい環境をつくることで農林業被害の軽減を図り、村内緩衝帯整備 5 ヶ年計画に基づき今年度は崩越地区において 3.92ha を整備する。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 王滝村崩越地区

(2) 対象者 崩越地区住民

(3) 実施方法 刈払機等を用いて人力により、つるや支障となる低木の除去を行う

(4) 事業目標及び当年度事業量 ①全体計画(平成 30~34 年度)緩衝帯整備 20ha

②平成 30 年度実績 緩衝帯整備 3.92ha



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

- (1) 事業実施による効果
加害鳥獣が出没しにくい環境をつくることで被害の軽減と森林整備に対する森林所有者の意識向上に繋がる。
- (2) 継続性
定期的な維持管理を行う予定であり、効果の継続性は見込まれる。
- (3) 普及性
崩壊地区住民をはじめ観光客に対して被害対策となる緩衝帯整備の必要性を周知できると考えられる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

- (1) 目標に対する成果の状況
里山整備を行った結果、農地周辺の有害獣出没が減少した。
隣接する村道1号線は村内外の車両も多く、見通しも良くなり環境整備の観点からも評価されているとみられる。
- (2) 課題
今後さらに森林所有者の高齢化が進み手入れが行きとどかない森林が増加する傾向にあることから里山整備と合わせ面的な整備が必要になる。
- (3) 今後の取組方向
 - 事業を現行どおり継続する
(今後の事業実施見込について記載)
今後も事業を継続し森林所有者や農業経営者に里山整備と併せて広くPRし有害獣による被害軽減や出没しにくい環境づくりを進めていきたい。
 - 事業内容を見直して継続する
(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)
 - 事業を継続しない
(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

大桑村

No.	事業項目	事業名
3	「森林を支える豊かな地域づくり」に関する事業	平成 30 年度森林づくり推進支援金事業（景観整備）
事業費 972,000円		(うち支援金:686,000円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

この地域の山林は急峻な斜面に存しており、上下を村道が通っている。
広域的な森林施業は困難であり、伐採造林も困難。

現状は、伐期を迎えたスギや、大径木となった広葉樹が多く、この木が村道に張り出し、場合によっては落下しかねない。また、林内において、倒木も数多く発生している。

(2) 本事業の目的

おおむね 1.2 km ほど、景観整備を実施する。

本事業においては、全体の起点部となるトンネル上部を含む 0.08ha の竹林の整備を行う。
倒木の危険のある竹木の除去を行い、通行者が安全かつ気持ちよく通行できる村道とする。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 大桑村大字長野 伊奈川地区

(2) 対象者 地権者 1 名

周辺住民 100 名

(3) 実施方法

伐採箇所は擁壁の上部であるが、旧赤線が通っており、これを利用して伐採を実施した。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画

1.2 km

②平成 30 年度実績

100m

0.08ha



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

通行人の安全確保と景観の向上

森林整備に対する森林所有者の意識向上

(2) 継続性

成熟しきった大径木や竹林を伐採するため、事業後の効果の継続は長期間見込むことができる。また地域での景観維持の意識改善にも大きく寄与すると考えられる。

(3) 普及性

多くの住民や観光客が通過する村道であることから、同様の森林の所有者への意識改善に対しても普及性が高いと考えられる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

上下を通る村道からの景観がかなり良くなり、道路の凍結等も付帯的に解決された。

今まで見えなかった対岸の風景が確認できるようになった。

(2) 課題

思った以上に斜度が強い。竹林の割合もかなり高く、地山を支える根となる立木が少ない。

(3) 今後の取組方向

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

基本的な景観整備事業としての伐採は継続する。

課題に対する解決策として、中低木のツツジやシャクナゲなどの植栽を検討する。

6 森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林税の評価・検証

6-1 森林税の普及啓発、評価・検証

(1) みんなで支える森林づくり推進事業

- ・森林の役割や森林づくりの重要性等について、県民の理解を深め、多様な主体による森林づくりを促進するため広報・普及啓発活動を実施する。
- ・また、地域会議による税活用事業の評価・検証を行います。

(単位：千円)

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績		補助率	事業費
・広報、普及啓発 ・地域会議の開催	県	広報活動の実施	随時	-	552
		地域会議の開催	2回		

【内訳】

(単位：千円)

区分	事業内容	事業費	備考
広報活動	森林税の普及啓発	340	情報誌Kisojin掲載
	合庁ロビー等のリーフレット、情報誌の配布	0	
	町村広報誌への掲載	0	木曾町広報誌
地域会議	第1回木曾地域会議の開催 (H30.7.19)	212	里山整備事業地視察
	第2回木曾地域会議の開催 (H31.3.5)		
計		552	

PR広報の実施状況



情報誌「Kisojin」vol.16に森林税PR記事掲載

地域会議の実施状況



会議状況



「梨の木団地」の里山整備地の現地調査（木曽町）

県民税活用事業の取組の評価・検証や取組情報を発信し広く地域住民に周知します。

(2) 森林の里親促進事業

- 里山や山村集落へ県が仲立ちとなり企業等の社会貢献活動や福利厚生活動を誘導し、森林整備と交流を通じた地域活性化を図ります。

事業内容	事業主体	H30年度 事業実績		備考
<ul style="list-style-type: none"> 新規契約のための企業の仲介 契約企業のフォローアップ 	県	企業等の契約件数	1件	H31,4,1

※里山整備利用地域の認定前であっても支援対象

【内訳】

区分	里子	里親企業等	里親による支援内容	備考
実施状況	王滝村	愛知製鋼（株）	<ul style="list-style-type: none"> 森林整備等の支援金20万円/年 プレイベントとして村有林の除伐、木工制作等を実施 アダプトサインの設置 	